

石川工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築計画学基礎	
科目基礎情報							
科目番号	18020			科目区分	専門 / 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	内田 伸						
到達目標							
1. 建築形態のなりたちを理解し、説明できる。 2. 建築計画と建築設計の関連性を理解し、説明できる。 3. 機能計画の概要を理解し、説明できる。 4. 人間工学の概要を理解し、説明できる。 5. 動線計画の概要を理解し、説明できる。 6. 寸法・規模計画の概要を理解し、説明できる。 7. 建築の外部空間とのかかわりを理解し、説明できる。 8. 独立住宅の計画の概要を理解し、説明できる。 9. 集合住宅の計画の概要を理解し、説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 項目 1, 2, 3							
評価項目2 項目 4, 5, 6, 7							
評価項目3 項目 8, 9							
学科の到達目標項目との関係							
本科教育目標 1 本科教育目標 3							
教育方法等							
概要	生活者として必要な社会・環境を配慮した建築計画の基礎学力と、建築設計に必要な生活像・建築空間および計画条件の把握・分析の方法等の専門知識の習得を目的とする。建築計画は3,4 学年にわたって学習するが,建築計画学基礎では, 建築計画の意義と基本概要, 人間工学や各種の計画方法論について学ぶ。						
授業の進め方・方法	指定する教科書に即して、建築計画学の基礎に関する理解を深める。 事前事後学習など：建築計画学の基本的な項目の到達度を確認するために、必要に応じて演習課題を与える。 関連科目：建築設計Ⅰ, 建築設計Ⅱ, 建築設計Ⅲ, 建築学基礎, 建築計画学演習						
注意点	建築計画の理解は、実証科学的な手法ばかりでなく、具体的な建築設計作品から、建築計画の実態を把握確認することが重要です。 授業中や定期試験直前の学習のみならず、平常時の予習・復習が大切です。 評価方法・評価基準：中間試験および期末試験を実施する。 試験成績（80％）、平常の学習におけるレポート等の小課題の提出状況（20％） 成績の評価基準として50点以上を合格とする。						
テスト							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	建築計画と設計(ガイダンス)				
		2週	空間の形態（1）				
		3週	空間の形態（2）				
		4週	人間の知覚と行動（1）				
		5週	人間の知覚と行動（2）				
		6週	寸法と規模の計画（1）				
		7週	寸法と規模の計画（2）				
		8週	第7週までの復習 空間の性能				
	2ndQ	9週	計画の技法				
		10週	外部空間の構成と配置計画				
		11週	独立住宅（1）				
		12週	独立住宅（2）				
		13週	集合住宅（1）				
		14週	集合住宅（2）				
		15週	復 習				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート小課題	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0